

## 《単位互換提供科目詳細》

\* 科目 No. 2117

## 科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島大学	科目開講 キャンパス	東広島キャンパス
2. 科目名	正式科目名	命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習	
	副題	クラス名	配当年次 1, 2, 3
	旧科目名	受入学年	
	学問分野	番号 33	名称 農学
	サテライトで開講される科目の科目群		A群 B群
3. 担当教員名	谷田創・黒川勇三・羽倉義雄・吉村幸則・磯部直樹・実岡寛文・上田晃弘・沖田美紀		
4. 単位数	2単位	5. 開講学期	前期集中
6. 開講期間 曜日・時間	平成 29 年 9 月 5 日 (火) ~ 平成 29 年 9 月 8 日 (金) :		
個別開講日	1回目 /	2回目 /	3回目 /
	7回目 /	8回目 /	9回目 /
	13回目 /	14回目 /	15回目 /
	4回目 /	5回目 /	6回目 /
	10回目 /	11回目 /	12回目 /
	16回目 /	試験日 /	
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 ( ) ②. 「基礎知識を必要としない科目」		
8. 募集人数 (総授業定員)	30 人 ( 人)	9. 定員超過時の 選考方法	受講者多数の場合は、本演習の体験を在学中のその後の授業に生かしていただくことを踏まえて、志望動機を考慮しながらも、低学年の学生(1,2年生)から優先して選抜する。
10. 科目内容・ 授業計画	<p>広島大学東広島キャンパスには生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター西条ステーション(農場)があり、そこでは太陽の恵みを受けた大地で作物を作り、それらを飼料として家畜を繁殖、成長させてミルクや肉、羊毛を生産している。また、畜産物や水産物を加工する食品製造実験実習棟と、動植物の精密実験圃場を有している。命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習では、多くの教員及び農場技術職員の協力により、これらの施設を有効に活用して、草と家畜と土の循環のなかで乳や肉を生産し、さらに食品に加工していく過程を、講義、実習及び討論を通じて学ぶことで、他の生き物の命によって生かされている人間の存在について考える。</p> <p>9/5(火): 集合・ガイダンス・農場の見学と説明 夕食後: 交流会(西条共同研修センター)</p> <p>9/6(水): 午前: 家畜のエサやりと乳搾り体験(農場)&amp;家畜の体の仕組みを見る(学部) 午後: ニワトリの肉を加工する(食品製造実験実習棟) 夕食後: 体験発表会のための準備(西条共同研修センター)</p> <p>9/7(木): 午前: 家畜の生命を支える大地の働きを探る(圃場および農場) 家畜のエサやりと乳搾り体験(農場) 午後: 搾った牛乳からヨーグルトを作る(食品製造実験実習棟) 生乳の加工とバター作り(農場) 夕食後: 体験発表会のための準備(西条共同研修センター)</p> <p>9/8(金): 午前: 体験発表会(学部講義室) お昼頃解散</p> <p>※都合によっては、上記内容(日程を除く)に変更が生ずる場合がある。</p>		
11. 試験・評価方法	受講態度、発表、レポートで評価する。受講者の安全と健康にかかわる演習中の規則を守れない受講者は不可となる。		

12. 別途負担費用	<p>授業期間中の食事費等（1万円以内）を現地で徴収します。集合場所までの旅費は自己負担です。開催1週間前以降のキャンセルについては食事代を、前日および実施期間中のキャンセルについては参加費用全額（1万円以内）を支払っていただきます。</p>		
13. その他特記事項	<p>●集合日時：9月5日（火）の13時にJR西条駅前に集合（昼食を済ませておいてください。）バスで大学まで送迎します。          なお、9月8日（金）は昼頃にバスでJR西条駅前まで送迎します。</p> <p>●傷害保険：事前に学生教育研究災害傷害保険（財団法人日本国際教育支援協会）相当の傷害保険に加入しておいてください。</p> <p>●持参物：医療保険証、作業以外の時に着る動きやすい服（サンダルや半ズボン等は不可）、帽子（日よけ用なのでサンバイザー不可）、デジタルカメラ（あれば望ましい）、水に濡れたり汚れても構わない靴、筆記用具、洗面具、タオル、身の回り品等。作業つなぎ及び長靴はこちらで用意します。</p> <p>※持ち物の詳細については受講が確定し次第、後日、メールで案内しますので、こまめに確認してください。また、その際に作業で着用する作業つなぎ及び長靴のサイズ確認と海外渡航歴の確認をしますので、必ず返信してください。メールでの連絡の際には必ず氏名と所属大学を明記してください。</p> <p>●やむなく欠席する場合は1週間前までに広島大学生物生産学部学生支援室まで申し出てください。直前にやむなく欠席・遅刻する場合も、必ず連絡してください。直前に受講を取りやめる場合、一部の費用をご負担いただく場合がございます。</p> <p>●口蹄疫等の防疫対策の関係上、農場への立入りを制限しており、受講希望者のうち、海外渡航された方で帰国が演習開始前1～2週間以内の方については、参加をご遠慮していただく可能性がありますので、必ず事前にご連絡下さい。</p> <p>●未成年の受講生が多数参加しますので実習期間中は禁酒・禁煙となっています。</p> <p>●演習期間中の移動は送迎バスを利用します。</p> <p>●本授業科目は、広島大学生物生産学部、広島大学他学部、他大学の非農学系学部の学生のために開講されるものです。</p> <p>●受講者多数の場合は、本演習の体験を高学年の授業で生かしていただくことを踏まえて、志望動機を考慮しながらも低学年の学生（1,2年生）を優先して選抜します。</p> <p>【問合せ・連絡先】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広島大学生物生産学部学生支援室 〒739-8528 東広島市鏡山1-4-4 TEL：082-424-5034 E-mail:sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp</li> <li>・ 広島大学大学院生物圏科学研究科 教授 谷田 創 〒739-0046 東広島市鏡山2-2965 TEL：082-424-7994 E-mail:htanida@hiroshima-u.ac.jp</li> </ul>		
14. サテライト科目の社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	否